

手術支援ロボット「ダビンチ」を新たに稼働します！

堺市立総合医療センターでは、堺市内で初めて手術支援ロボット「ダビンチ」を新たに導入し、4月より前立腺がんに対するロボット支援手術を開始します。

当院が採用した最新の「da Vinci Xi SURGICAL SYSTEM」は、旧型と比較しロボットアームをスリム化し、特殊な関節機構を有することで、今まで問題となっていたアーム同士の干渉が劇的に減少しています。同機種への導入は大阪でも初となります。

現在は前立腺がんに対する前立腺全摘術のみが保険診療として認められていますが、平成28年4月より腎がんに対する腎部分切除術が保険診療となります。また、将来的には胃がんや子宮頸がんなどが保険診療となる可能性があります。

1. 特徴・利点

- 傷口が小さく、術中の出血量が少ない
- 術後の疼痛が少なく、回復が早い
- ロボットアームの細密な動きにより臓器の機能温存が向上

2. 稼働時期

- 治療開始 平成28年4月1日（金）



ダビンチ

(参考)

■ロボット支援手術とは

患者さんのお腹に明けた小さな穴に手術器具を取り付けたロボットアームと内視鏡を挿入し、医師がサージョンコンソールと呼ばれる操作ボックスの中で内視鏡画像を見ながら操作をして手術を行う方法です。